

2024年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

( 夏期・一般選抜 ) 問題

専門科目 計算人文社会学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

成

績

2024 年度

大学院文学研究科博士課程前期 2 年の課程入学試験

(夏期・一般選抜) 問題

専門科目 ( 計算人文社会学 専攻分野)

注意) 問題用紙は 4 枚ある。解答は 5 枚目から記入せよ。解答の順序は自由だが、どの問題の解答であるかが分かるように、問題番号を間違いなく記入すること。

問題 1.

次の標準形ゲームについて以下の問いに答えよ。

列プレイヤー

	W	X	Y
A	0,0	1,2	2,1
B	2,5	0,0	3,4
C	2,2	5,3	0,4

行プレイヤー

- (1) このゲームの純戦略ナッシュ均衡となる戦略の組み合わせを全て示し、その組み合わせがナッシュ均衡であることを証明しなさい。
- (2) パレート最適の定義を述べ、このゲームにおけるパレート最適な状態を全て示せ。

(次頁に続く)

## 問題2.

次の表は高・雨宮（2013）によるものである。2008年に173名の大学生に対して実施された質問紙調査の回答から、在日コリアンに対する意識に対して探索的因子分析が行われた。3つの因子が抽出されており、すべての項目に単一の因子が0.4以上の負荷を示している。著者たちは第1因子を「古典的レイシズム」、第2因子を「現代的レイシズム」と命名している。

この結果を踏まえ、以下の問いに答えなさい。

- (1) 一般的に探索的因子分析を行う動機としてはどのようなものが挙げられるか。
- (2) 「共通性」の意味と、その値が大きいことの解釈を述べなさい。
- (3) 「古典的レイシズム」と「現代的レイシズム」の特徴としてどのようなことが言えるか述べなさい。

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

(出典) 高史明・雨宮有里, 2013, 「在日コリアンに対する古典的/現代的レイシズムについての基礎的検討」『社会心理学研究』28(2): 67-76.

---

問題3. 次の語句について、1語句につき100字程度で簡潔に説明せよ。

- ①自然言語処理 ②スクレイピング

問題4. 以下の英文を読み、問いに答えなさい。

- (1) 下線部 (a) を日本語に訳しなさい。
- (2) 下線部 (b) を日本語に訳しなさい。
- (3) 下線部 (c) について本文に即して日本語で説明しなさい。

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

---

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

(出典) Hofman, J.M., Watts, D.J., Athey, S. et al. 2021 “Integrating explanation and prediction in computational social science” *Nature* 595, 181–188.

---







